

マツダ真空管 6J5-GT

用途構造 検波発振増幅用 3 極管

特性概要 6J5-GT は増幅率が中位で相互コンダクタンスが大きい傍熱型 3 極管で、検波増幅発振用に使用されます。

カソード 傍熱型(オキサイド被覆・等電位)

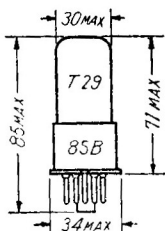
ヒーター電圧 6.3V

ヒーター電流 0.3A

バルブ T-29

ベース 8SB

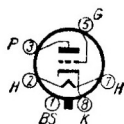
外形



電極接続

- 1 ベース・スリ
ーブ
- 2 ヒーター
- 3 プレート
- 4 接続なし又は
ピン省略
- 5 グリッド
- 6 接続なし又は
ピン省略
- 7 ヒーター
- 8 カソード

ベース接続



電極間静電容量(概略値)(外部シールド付)

グリッドとプレート間	3.8pF
グリッドとカソード間	4.2pF
プレートとカソード間	5.0pF

A₁ 級増幅用

最大定格

プレート電圧	最大300V
グリッド電圧*	最大0V
プレート損失	最大2.5W
ヒーター・カソード間電圧	最大90V

* コントロール・グリッド回路の直流抵抗値は $1M\Omega$ を越えないこと。

動作例及特性

プレート電圧	90V	250V
グリッド電圧	0V	-8V
増幅率	20	20
プレート抵抗(概略値)	6700Ω	7700Ω
相互コンダクタンス	$3000\mu\text{V}$	$2600\mu\text{V}$
プレート電流	10mA	9.0mA

動作例一抵抗結合増幅

プレート供給電圧	180V	300V
負荷抵抗	$0.1M\Omega$	$0.1M\Omega$
グリッド抵抗(次段の)	$0.25M\Omega$	$0.25M\Omega$
カソード抵抗	2830Ω	2440Ω
カソード・バイパス・コンデンサー	$1.35\mu\text{F}$	$1.42\mu\text{F}$
ブロッキング・コンデンサー	$0.012\mu\text{F}$	$0.0125\mu\text{F}$
尖頭出力電圧	34V	56V
電圧利得	14	14

